

生活環境評価指標としての心拍変動性の評価方法に関する研究：外因性及び内因性刺激の自律神経応答に及ぼす相互作用の検討

石橋，圭太

<https://doi.org/10.11501/3168350>

出版情報：九州芸術工科大学，1999，博士（芸術工学），課程博士
バージョン：
権利関係：

謝辞

本論文の作成にあたり、多くの先生方に御指導、御助言を賜りました。安河内朗教授には学部4年次から博士後期課程2年次までの5年間、指導教官としてヒトとは何であるかを研究することの難しさと奥の深さ、楽しさについて多くの御教示を頂き、そして論文を通して細やかな御指導を賜りましたこと心より感謝申し上げます。また何事にも二の足を踏んでしまいがちな私に、やらなければ始まらないということを一貫して御示し下さいましたこと重ねて感謝申し上げます。

私が在籍している人間工学講座の先生方には、在学期間を通じて大変お世話になりました。佐藤陽彦教授をはじめ、栃原裕教授、菊地和夫助教授、綿貫茂喜助教授に深く感謝いたします。

福岡女子大学の大中忠勝教授には生活環境に対する多くの御教示を頂きました。また貴重な資料をお貸し下さいましたこと深く感謝いたします。

実験を行うにあたって、近畿大学の大箸純也助教授には、実験に関して、また測定法に関する多くの御助言を頂き大変お世話になりました。また本教室の小林宏光助手には、測定法をはじめとする心拍変動に関する独自の見解とともに賢明な御助言と御批判を頂きました。そして特殊生態実験室の藤原睦弘技官には多くの実験条件があるなか円滑に実験が行えましたこと深く感謝いたします。

本教室の河原雅典先輩をはじめ樋口重和先輩、岩切一幸先輩、前田享史先輩には、多くのアドバイスとともに貴重な研究の御時間を気前よく後輩の私に割いてくださったこと深く感謝いたします。また、第3章の共同実験者の藤井元氏ならびに坂口望氏、さらに、第4章の実験の共同実験者であり、論文作成を手伝って頂いた上田慎一氏に、そしてすべての実験に被験者として参加して下さった学生諸氏に感謝いたします。

最後に、長年にわたり学業に専念できるよういつも温かく見守ってくれた
家族に心から感謝いたします。

1999年12月

石橋 圭太